

# 第2期 はちおうじ学園都市ビジョン

令和6年度～令和12年度（2024年度～2030年度）

概要版（案）

令和6年（2024年）4月

八王子市

## 策定の趣旨

本市は、令和5年度（2023年度）現在では、市内に21の大学・大学院・短期大学・高等専門学校（以下「大学等」という。）が立地し、約9万人の学生が学んでいます。

この「学園都市八王子」としての特徴を活かして、大学等と本市が、支え合いながら発展していくにあたり、目指すべき姿を定め、この実現に向けて相互に協力して取り組むうえでの道標とするため、「第2期はちおうじ学園都市ビジョン」を策定しました。

## 計画期間

「八王子未来デザイン2040」の計画期間に合わせ、令和6年度（2024年度）から令和12年度（2030年度）までの7か年とします。

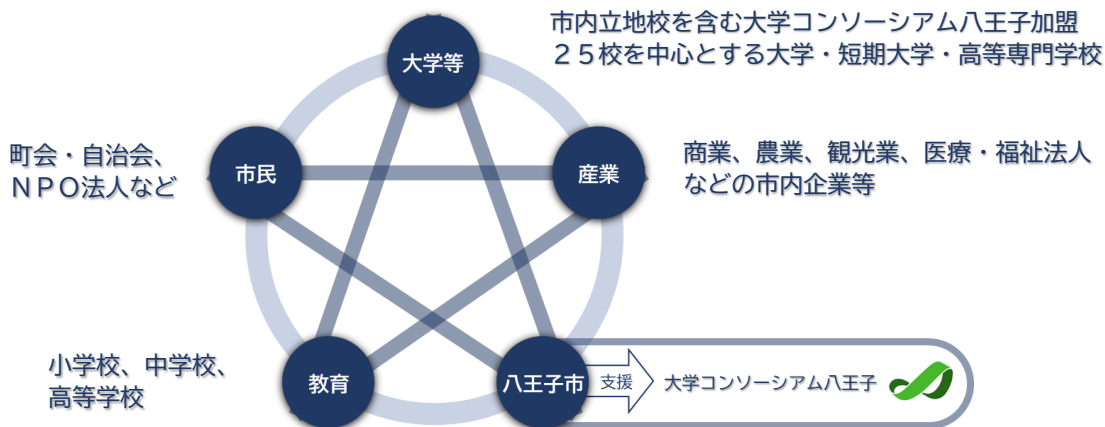
## 進行管理

本ビジョンを実効性のあるものとするために、P（PLAN：計画）、D（DO：実行）、C（CHECK：評価）、A（ACTION：改善）のマネジメントサイクルに基づき、進行管理とともに点検・評価し、評価結果をもとに、各基本施策における取組について、柔軟に見直し・改善を行います。

## 推進体制

本ビジョンでは、学園都市づくりのパートナーとして支援する大学コンソーシアム八王子とともに、市民、大学等、企業等と連携することで取組を推進します。

なお、国や東京都の動向、学生数の推移を中心とした社会情勢の変化などを踏まえ、必要に応じて内容の見直しを行います。



# ビジョンの全体像

## 基本理念

## 大学等と地域がともに発展するまちづくり

本市は、大学等の行う高等教育の振興を通じて、大学等と地域が互いに交わり、支え合い、さらには、共創により新たな価値を創出することを通して、ともに発展するまちづくりの実現を目指します。

## キャッチフレーズ

## 「まるごとキャンパス八王子」 ～学生、人材が「集う」まちに～

大学等と地域がともに発展するまちづくりを実現するためには、大学等が地域を実践の場として行う教育を支援し、地域の活性化につなげていくことが重要です。その結果、学生、市民が多様な地域の人材と資源との関わりを通じて「学び」「育つ」こととなります。さらには、地域で学ぶことを通じて、学生が八王子の魅力を発見し、将来のライフステージにおいて、本市が「働く」、「暮らす」、観光などで「訪れる」または地域と多様な形で「かかわる」場となることを目指します。

地域全体が学びの場となり、大学等と地域が連携し合う、「まるごとキャンパス八王子」～学生、人材が「集う」まちに～をキャッチフレーズとして推進します。

## 7つの基本施策

基本施策1

地域連携  
支援

基本施策2

産学公連携  
支援

基本施策3

学生活動  
支援

基本施策4

学生の就職  
支援

基本施策5

生活環境  
支援

基本施策6

留学生  
支援

基本施策7

生涯学習  
推進

## 基本施策1 地域連携支援

### 2030年の目指す姿

大学等と地域が、課題と目標を共有し、ともに考え、解決に向けて主体的に取り組む関係性が築かれており、互いの発展に貢献している。また、地域での学びを通して、学生が主体性や課題解決の実践力を身に付けるとともに、地域への理解を深め、愛着が育まれている。

#### 施策の方向性

##### 1 大学等と地域とのつながりづくり <<新規>>

大学等を含む多様な主体が互いに連携しあうための共創の場づくりを進めることにより、大学等の地域資源を活用した教育を支援するとともに、学生の地域での学びを支援します。

##### 2 行政と大学等との共創の推進 <<新規>>

行政では、大学等を「共創」の重要なパートナーであるという認識のもと、積極的に連携を図り、地域課題の解決につなげることで、大学等の存在により地域が発展していると実感できるまちづくりを推進していきます。

## 基本施策2 産学公連携支援

### 2030年の目指す姿

本市の多様な産業と大学等が組織単位で連携する関係性を築き、互いのリソース、ノウハウを持ち寄ることで新たなイノベーションを創出している。

#### 施策の方向性

##### 1 大学等と市内企業との連携促進

大学等と市内企業との交流を通じて、共創のパートナーとしての関係性を築けるよう、連携の充実を図ります。

##### 2 産学公連携によるイノベーション創出の支援

大学等の知的財産、学術研究の成果が企業課題の解決に結びつき、社会への貢献に繋がるよう、共同研究・共同開発を支援します。

##### 3 キャンパスの再構築を契機とした産学連携と地域振興の促進に向けた支援 <<新規>>

大学等の施設更新や用地の再構築の機会を捉え、教育環境の充実や、大学等と市内企業及び研究機関等との産学連携を促進する施設整備等を支援するとともに、大学等用地を活用した市産業及び地域振興に資する施設立地について支援します。

## 基本施策3 学生活動支援

### 2030年の目指す姿

学生が地域を舞台とした様々な活動を通して地域住民と交流を持つことで「社会貢献意識・自己肯定感」を向上、「自己実現」を達成させ、地域の一員としていきいきと暮らし、地域に活力が生まれている。

#### 施策の方向性

##### 1 地域で活動する学生の支援

地域貢献の意欲を持つ学生が活動の場を広げるとともに、地域社会の一員として力を発揮できるよう支援します。

##### 2 学生と地域活動を結ぶ機会の創出

ボランティア活動に興味・関心のある学生が、新たに活動しやすく、また、志をともにする仲間を見つけ、より発展した活動に繋がる機会を提供します。また、活動の様子を広く周知することで、「潜在的ボランティア層」の活動参加を促します。

##### 3 支援者間の接続の強化

《新規》

学生の参加を求める地域と学生とのマッチングが円滑に展開されるよう、大学等の学生活動を支援する窓口と地域活動支援機関との窓口間の接続を強化します。

## 基本施策4 学生の就職支援

### 2030年の目指す姿

地域の学びや地域企業との交流を通じて学生が自身のキャリア形成に有益な体験を得て、将来のライフステージで本市で働くこと、暮らすことに魅力を感じている。

#### 施策の方向性

##### 1 地域資源を活かした連携の推進による大学等のキャリア教育の支援

《新規》

本市の多様な地域資源との関わりの中で行う、地域連携、産学公連携による連携事業や、学生活動を通して社会人として求められる能力や姿勢を身に着けるためのキャリア教育を支援します。

##### 2 市内企業の魅力の発信

学生が希望する働き方を実現できるよう、就職の選択肢を広げるとともに、地域産業を支える人材確保を図ることを目的として学生に対する市内企業の魅力発信を支援します。

##### 3 市内就職及び定住の促進

《新規》

学生、若者を対象として、大学等の卒業後などにおいて、本市を働く場所、住む場所として選ぶことにつながるような取組を進めます。

## 基本施策5 生活環境支援

### 2030年の目指す姿

学生が安全安心に暮らし、社会とのつながりを  
持ちながら自分らしいみちを歩める場所として  
本市に魅力を感じている。

#### 施策の方向性

##### 1 安全・安心な学生生活を守る環境づくり

学生が地域社会において安心して生活できるよう環境を整えます。

##### 2 学生の居場所づくり ‹‹新規››

地域が学生にとって居場所と感じられる場所となることを目指して、取組を進めます。

##### 3 大学等周辺部の基盤整備の促進

公共交通機関の利便性向上や大学等の施設整備に関わる支援を進めます。

## 基本施策6 留学生支援

### 2030年の目指す姿

外国人留学生が安全安心に暮らしており、また  
多世代との交流など地域活動に参画することによって、  
国籍、民族、文化の違いを互いに認め  
合い、助け合い、活かし合いながら、ともに暮  
らす多文化共生のまちづくりが実現している。

#### 施策の方向性

##### 1 外国人留学生への生活支援

外国人留学生の安全安心な学生生活を守る環境づくりを進めるとともに、日本国内での就職を希望する学生を支援します。

##### 2 外国人留学生による地域活性化

外国人留学生ならではの視点や能力を活かして地域活性化を図るとともに、留学生生活が充実するよう、地域活動への参画を促進します。

## 基本施策7 生涯学習推進

### 2030年の目指す姿

各ライフステージにあわせて、大学等が学びを得る場となり、生涯にわたり切れ目なく学べる環境が整備されている。

### 施策の方向性

#### 1 多様な学びの環境づくり

小中高大連携や大学間連携を推進し、児童・生徒・学生が大学等の特色ある多様な「知」に触れることのできる環境づくりを進めます。

#### 2 自己実現のための学びの支援

大学等での学びを得る機会を広く創出することで、社会人の学び直し（リカレント教育）や健康寿命の延伸につながる生涯学習の取組などを促進します。

#### 3 大学等施設における市民の生涯学習の推進

大学等施設（図書館施設や運動施設など）の市民利用に関する情報提供を行うことで、市民の生涯学習活動の充実を図ります。

## 指標

学園都市づくり施策における数値目標を、施策の実施による直接の結果をアウトプット指標、その結果、本市にもたらされる効果をアウトカム指標として、「八王子未来デザイン2040」及び「八王子市経営計画（重点事業編）」で定めています。

### 【アウトカム指標】

市民の実感割合の推移をもとに、施策の効果検証を図ります。

重要業績評価指標（KPI）	基準値 令和4年度 (2022年度)	目標値 令和12年度 (2030年度)
大学等や学生がまちづくりにかかわっていると実感している市民の割合（%） ※出典：市政世論調査	24.5%	50.0%

（「八王子未来デザイン2040」学園都市づくりの推進 目標設定）

### 【アウトプット指標】

大学等と本市との連携・協力事業数を指標として定めることで、行政が率先して学園都市づくりを推進します。

重要業績評価指標（KPI）	基準値 令和3年度 (2021年度)	目標値 令和12年度 (2030年度)
大学等と本市との連携・協力事業数 (件/年間) ※出典：学園都市文化課調査	148件	256件

（「八王子市経営計画（重点事業編）」学園都市づくりの推進 評価指標）

第2期はちおうじ学園都市ビジョン 概要版（案）

令和6年（2024年）4月

発行：八王子市

編集：市民活動推進部 学園都市文化課

〒192-8501

東京都八王子市元本郷町三丁目24番1号

電話：042-620-7409 FAX：042-626-0253

表紙・裏表紙デザイン：

東京造形大学 大学院 デザイン研究領域 TAN YOUNI

※本冊子は再生紙を使用しています。